

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 フォレスタ鳥海			電話番号	0184-58-2888				
所在地	秋田県由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前8番地45			FAX番号	0184-58-2333				
設立年月日	平成8年2月20日			HPアドレス	http://foresta-chokai.com/				
2 資本金	60,000千円								
(出資総額)	215,000千円	市出資金	120,000千円	市出資割合	55.8 %				
3 事業内容	1. 秋田県営鳥海観光宿泊センターの管理運営(フォレスタ鳥海) 2. 上記に関する一切の事業								
4 財務状況(令和2年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	37,041	29,175	26,209		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	209,828	212,722	211,599
	負債	34,174	34,487	31,915		(内市からの補助金・指定管理料)	13,900	21,660	29,738
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 25,161	△ 26,698	△ 29,430
	純資産	2,867	△ 5,312	△ 5,706		当期純利益	△ 12,722	△ 8,179	△ 395
	利益剰余金	△ 212,133	△ 220,312	△ 65,140		減価償却前当期利益	△ 12,473	△ 7,909	△ 87
5 役職員の状況(令和2年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		8 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		18 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(令和2年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	13,900	21,660	29,738	第三セクター運営費補助金、国際観光推進事業補助金(ほか)					
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小 計	13,900	21,660	29,738						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小 計	0	0	0						
合 計	13,900	21,660	29,738						
【参考】指定管理料(税込)									
	0	0	0						
(2) その他(令和2年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合 計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第24期決算報告書(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第25期)

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

株式会社 フォレスタ鳥海

由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前8番地45

0184-58-2888

報告第1号

第25期事業報告書

(自平成31年4月1日～至令和2年3月31日)

営業の経過

県内経済の概況は、個人消費は全体として穏やかに持ち直しの動きが見られ、製造業は穏やかに回復しており、雇用は高水準で推移していると判断される中での事業となりました。

売上比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
30年度	40,119	67,402	54,209	27,844	189,574
元年度	40,865	61,373	49,577	22,758	174,573
比 較	746	-6,029	-4,632	-5,086	-15,001

損益比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
30年度	-11,218	8,006	12,698	-17,666	-8,180
元年度	-8,066	5,802	10,463	-8,594	-395
比 較	3,152	-2,204	-2,235	9,072	7,785

宿泊者数比較 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
30年度	2,425	4,285	3,505	1,929	12,144
元年度	2,445	3,857	2,819	1,541	10,662
比 較	20	-428	-686	-388	-1,482

地域別宿泊者数比較 県内利用 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
30年度	882	1,156	1,059	1,065	4,162
元年度	995	1,313	1,173	960	4,441
比 較	113	157	114	-105	279

地域別宿泊者数比較 県外利用 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
30年度	1,543	3,129	2,446	864	7,982
元年度	1,450	2,544	1,646	581	6,221
比 較	-93	-585	-800	-283	-1,761

県外宿泊利用内、インバウンド年間比較（単位：人）

	台湾	タイ	韓国	その他	合 計
30年度	974	31	60	8	1,073
元年度	349	74	2	51	476
比 較	-625	43	-58	43	-597

第1四半期においては、総売上40,865千円、前年比746千円増。宿泊利用者数2,445名、前年比20名増。損益-8,066千円、前年比3,152千円増となりました。地域別宿泊状況は、県内利用前年比113人増、県外利用前年比93人減となりました。宴会利用においては売上で7,011千円（前年比11%減）となっております。日帰り利用においては、入浴利用者数で3,048人（前年比2%減）、レストラン利用者数で1,716人（前年比1%減）となっております。販売管理費においては37,014千円（前年比2,567千円減）となっております。なお、5月29日には減資に向けて株主説明会を開催、6月24日には第24期定時株主総会を開催し、資本金を165,000千円減資して50,000千円にする案を可決しております。この減資効果により期末に法人税・住民税において前年比1,468千円の節税となりました。

第2四半期においては、総売上61,373千円、前年比6,029千円減。宿泊利用者数3,857人、前年比775人減。損益5,802千円、前年比2,204千円減の結果となり大きな減収減益となりました。地域別宿泊利用状況は、県内利用前年比157人増、県外利用前年比585人減となり、県外利用減の主な要因はエージェント送客の減（前年比121人減）と首都圏からの利用減があげられます。宴会利用においては売上で10,586千円（前年比25%増）となっております。日帰り利用においては、入浴利用者数で3,338人（前年比6%減）、レストラン利用者数で2,024人（前年比27%減）。販売管理費においては44,160千円（前年比594千円減）となっております。なお、7月12日にはビールフェスタを、前年と同じくレストランをメイン会場に開催し、120名の方に参加をしていただきました（売上722千円、利益251千円）。

第3四半期においては、総売上49,577千円、前年比4,632千円減。宿泊利用者数2,819人、前年比686人減。損益においては、由利本荘市より施設運営の為に2千万円の助成をいただいたにも関わらず10,463千円、前年比2,235千円減の結果となりました。地域別宿泊状況は、県内利用前年比114人増、県外利用は800人減となりました。県外利用の大幅な利用減の要因としては、鳥海ダム関連の利用減（前年比約300人減）と台湾チャーター便の減便・欠航に伴うインバ

ウンド利用の減（前年比 331 人減）、国内エージェント送客の減（前年比 150 人減）があげられます。宴会利用においては売上で 11,807 千円（前年比 8%減）となりました。日帰り利用においては念願だったグリーンラインの開通効果により、入浴利用者数で 4,012 人（前年比 74%増）、レストラン利用者数で 2,765 人（前年比 49%増）となっております。販売管理費においては 45,023 千円、前年比 2,234 千円減となりましたが、燃料費・水道光熱費（前年比 1,412 千円増）は高くなっております。なお、11月29日には『日本酒を味わう女子会』を開催し 33 名に参加していただきました（売上 93 千円、利益 35 千円。）

第 4 四半期においては、総売上 22,758 千円、前年比 5,086 千円減。宿泊利用者数 1,541 名、前年比 388 名減。損益においては由利本荘市より追加の助成金として 922 万円をいただいたことから、-8,594 千円、前年比 9,072 千円増となりました。地域別宿泊利用状況は、県内利用前年比 105 人減、県外利用 283 人減となりました。宿泊利用減の主な要因としては、インバウンドの減（前年比 216 人減）、暖冬によるスキーパックの売り上げ不振、コロナウイルス関連キャンセル 273 人があげられます。宴会利用においては売上で 3,412 千円（前年比 38%減）となり、コロナウイルス関連で売上 1,865 千円分のキャンセルがありました。日帰り利用においては、入浴利用者数で 2,921 人（前年比 72%増）、レストラン利用者数で 1,022 人（前年比 36%増）となっております。販売管理費においては、39,335 千円（前年比 2,918 千円増と）になっており、市道除雪委託に使用した除雪機借り上げ代が上昇分となっております。

当期総売上 174,573 千円、前年比 15,001 千円減。売上原価 50,527 千円、前年比 4,285 千円減。販売管理費 161,265 千円、前年比 3,143 千円減（内、人件費 2,864 千円減）。当期損益 -395 千円、前年比 7,785 千円増。宿泊利用者数 10,662 名（内、インバウンド 476 名）、前年比 1,482 名減（内、県内利用 279 名増、県外利用 1,761 名減）の結果となり、由利本荘市より総額で 2,922 万円もの多額の補助をいただいたにも関わらず、損失を出す結果となりました。

当期において、ネット予約売り上げは前年を上回り、秋口のグリーンライン開通以降の日帰り利用は伸びたものの、エージェント送客の減、鳥海ダム関連宿泊の減、インバウンド送客の大きなキャンセル（約 700 人）に加え、3 月以降のコロナウイルス関連のキャンセルにより、前年の売上の落込みを挽回することができませんでした。また、新規事業として取り組んだ市道除雪委託については、異常な暖冬にも関わらず 1,297 千円の利益を出すことができました。

来期においては、新型コロナ対策を念頭に安心安全をお客様に伝える営業をしてま

います。地元の利用促進と県内利用促進のために県内の旅行会社へも営業を進めて参ります。なお、インバウンド誘客につきましては引き続き台湾・タイ王国を中心に由利本荘市、秋田県より情報をいただきながら誘客を進めます。今後においても由利本荘市並びに秋田県、関係諸機関と連携をとりながら事業を進めて参りますので、役員の皆様、株主の皆様、行政諸機関にはさらなるご指導ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

貸 借 対 照 表

令和 2年 3月31日 現在

株式会社 フォレスト鳥海

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	25,039,102	【流動負債】	31,915,184
現 金 ・ 預 金 合 計	13,977,779	買 掛 金	1,845,591
売 掛 金	1,661,773	未 払 金	26,574,558
商 品	4,843,768	預 り 金	1,118,850
貯 蔵 品	3,899,250	従 業 員 預 り 金	685
前 払 費 用	9,900	未 払 法 人 税 等	184,000
未 収 入 金	559,314	未 払 消 費 税	2,191,500
立 替 金	87,318	負 債 の 部 合 計	31,915,184
【固定資産】	1,169,512	純 資 産 の 部	
【有形固定資産】	285,952	【株主資本】	-5,706,570
建 物	2,318,300	資 本 金	50,000,000
建 物 附 属 設 備	321,000	利 益 剰 余 金	-55,706,570
構 築 物	1,839,056	そ の 他 利 益 剰 余 金	-55,706,570
車 両 運 搬 具	24,431,040	繰 越 利 益 剰 余 金	-55,706,570
工 具 器 具 備 品	9,995,363	(うち当期純損失金額)	394,674
減 価 償 却 累 計 額	-38,618,807		
【無形固定資産】	728,000		
電 話 加 入 権	728,000		
【投資その他の資産】	155,560		
長 期 前 払 費 用	51,300		
保 証 金	50,000		
預 託 金	54,260		
資 産 の 部 合 計	26,208,614	純 資 産 の 部 合 計	-5,706,570
		負 債 及 び 純 資 産 合 計	26,208,614

損 益 計 算 書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

株式会社 フォレスタ鳥海

(単位: 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	174,573,521	
売 上 高 合 計		174,573,521
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	5,282,911	
当 期 商 品 仕 入 高	50,088,290	
合 計	55,371,201	
期 末 商 品 棚 卸 高	4,843,768	
売 上 原 価		50,527,433
売 上 総 利 益 金 額		124,046,088
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		161,265,128
営 業 損 失 金 額		37,219,040
【営業外収益】		
受 取 利 息	500	
雑 収 入	7,805,805	
営 業 外 収 益 合 計		7,806,305
【営業外費用】		
雑 損 失	16,938	
営 業 外 費 用 合 計		16,938
経 常 損 失 金 額		29,429,673
【特別利益】		
国 庫 補 助 金 等 収 入	29,219,000	
特 別 利 益 合 計		29,219,000
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	1	
特 別 損 失 合 計		1
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		210,674
法 人 税 及 び 住 民 税		184,000
当 期 純 損 失 金 額		394,674